

新型コロナワクチン うちたくても うてない

ワクチンだのみでは 新型コロナおさえられない



区役所のワクチン手続き代行窓口で殺到する高齢者



6/4 区へ「ワクチン・オリパラ学校観戦中止」の緊急申し入れをする区議団

ワクチンが不足して予約受付を中止する自治体が相次いでいます。足立区でも7月の供給量が予定の半分以下で、予約受付の中断も余儀なくされました。

菅政権は1日100万件の接種で11月中にはすべての国民の接種を完了するとして自治体に対し、接種体制の構築を求めてきました。足立区も国の方針に従い小中学校体育館、地域学習センターなど119カ所の集団接種会場、250を超える病院、診療所の個別接種会場を設定し対応してきました。

6月下旬からは64歳以下の区民への接種券の発送が順次行われてきましたが、ワクチン不足により、区民から「予約が出来ない」との苦情が寄せられています。今後も、十分な供給の見通しを国は示しておらず、10月以降は、接種会場も4か所に縮小されます。

コロナ対策よりも五輪を優先させてきた政治の責任は重いと言わざるを得ません。

「ワクチン頼みでは新型コロナは抑えられない」との日本共産党の指摘が現実のものになっています。「迅速なワクチン」「徹底したPCR検査」「補償」の3点セットによる科学的な対策が今こそ必要です。

オリパラ
観戦

3万4千人の
子どもたちを守った!

足立区がいち早く中止を決断

オリパラは無観客観戦となりましたが、都教委は直前まで「子どもたちの観戦学校動員」を中止しようとしていませんでした。

足立区の五輪への子ども学校観戦は、小学校（3年生以上）69校、中学校35校の子どもたち3万4000人を対象としていました。安全対策マニュアルもなく、公共交通で移動など2年前の計画を押し付けるやり方に、教員・保護者から「学校行事も中止なのにオリンピックだけ特別扱いひどい」「安全に連れていけない」と声が上がっていました。日本共産党は、都議会（斉藤まりこ都議）、国会（吉良よしこ参院議員）の質問と連携して、区議団が区長・教育長に「観戦動員中止」を申し入れ、区教委は23区でもいち早く（3番目に）中止を決断しました。

保護者や子どもたちから感謝の声が寄せられています。

ワクチン対策 くり返し申し入れ

保育士など

エッセンシャル
ワーカーへの
優先接種実現!

足立区では、介護従事者、障害者施設などへの優先接種は行われているものの、保育園・幼稚園従事者には計画すらありませんでした。日本共産党区議団は「保育園はクラスターが続発している。乳幼児はマスクも出来ず、接触しないと保育はできない。一刻も早く接種を」と申し入れや代表質問で強く求める中、ついに実現しました。7月から順次接種が始まりました。

しかし接種枠が少ないため、受けたくても受けられない方が多くいたため、日本共産党はさらに委員会での改善を求め、ただちに実施されました。

日本共産党

足立区議団ニュース

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 ぬかが和子
編集責任者 浅子けい子

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

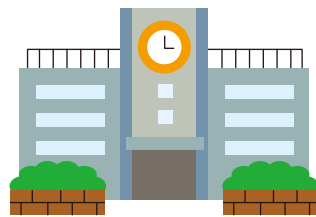
足立区議団のホームページ <http://www.adachi-jcp.jp/>

2021年 第2回定例区議会報告 No.192

生理の貧困

コロナ感染拡大の影響で貧困化が進み生理用品が買えない子どもが増えているなか、日本共産党の質問を受けて区は防災備蓄用の生理用品の配布を行いましたでしたがすぐにはなくなりました。日本共産党は生理用品の配布を一過性のものとせず、フードパントリーの活用などで継続実施を求めました。区は、今後は防災物品の入れ替えのタイミングでの配布が可能かを検討すると答弁しました。

また、学校のトイレに生理用品を置くことを求めてきましたが、区は「保健室に行けばもらえるようになっている」と現状を変えようとはしませんでした。そこで代表質問で「親の貧困などで生理用品が買えない」と子どもが保健室にもらいに行けるだろうか！と問題提起を行い、都や他の自治体で実施していることも示して、再度学校トイレに生理用品を配備するよう求めました。区は夏休み明けにトイレに配備することを表明。一歩前進しました。



土石流災害直後に区議団全員で救援募金にとりくむ

日本共産党が繰り返し求め実現した 7万円のエアコン設置補助 継続支援が実現！

65歳以上の7万円のエアコン設置支援は、当初220件に達した時点で「打ち切り」としており、日本共産党区議団は緊急申入れなどで「継続実施」を強く求めた結果、区は補正予算を計上して継続支援が決まりました。

さらに「熱中症の危険は高齢者だけではない！」と代表質問で対象拡大を求め、区は「検討」することを答弁しました。

「昨年は、昼間はスーパーや公園で過ごし、夜は扇風機をつけても暑くて眠れず、熱中症で入院しました。区議団ニュースで制度を知り、エアコンをつけることができて命拾いをしました」(65才単身男性)

【気候変動適応対策エアコン購入費補助金】

- ①65歳以上の高齢者のみ世帯
- ②一台もエアコンがないか故障している
- ③住民税を滞納していない
- ④省エネ基準★★以上のエアコンを購入する
(以上全てに当てはまること)

※所得制限はなく、生保受給者でも可能です。

「高校生までの医療費無料化の条例」 自民・公明など賛成せず「継続」に

日本共産党は、他会派と連携して第一回定例会に「高校生までの医療費無料化」を条例提案。与党の自民・公明などは7月までの3回の委員会審議で、全く質疑を行わず継続審議に。自民党は継続の理由に「反対するものではないが、政策は全体の調和が必要。執行機関との財源の問題等を十分に考えながら」と主張。実施の先延ばしは、財源も示して提案しているのに賛成せずに審議を引き延ばす与党の姿勢が問われます。コロナ禍でかつてない苦境に陥っている子育て世代に冷たい態度です。

委員会での各会派の態度

自民	公明	共産	立民
△	△	○	△

○賛成 △継続



都議会議員
斉藤 まりこ
《事務所》足立区千住龍田町8-3
☎(03)879-33629



区議会議員
きたがわ 秀和
厚生委員会
子ども子育て支援対策調査
特別委員会



区議会議員
横田 ゆう
産業環境委員会(副委員長)
災害・オウム対策調査特別委員会



副幹事長
山中ちえ子
建設委員会
エリアデザイン調査特別委員会
(委員長)



副幹事長
西の原えみ子
区民委員会(副委員長)
災害・オウム対策調査特別委員会



政調委員長
浅子けい子
厚生委員会
交通網・都市基盤整備調査
特別委員会(副委員長)



幹事長
はたの 昭彦
議会運営委員会
総務委員会(副委員長)
エリアデザイン調査特別委員会



区議団長
ぬかが 和子
議会運営委員会
文教委員会(副委員長)
子ども子育て支援対策調査特別委員会

区議団の役職と所属委員会は
次のように決まりました

ご意見・ご要望、くらしの相談は区議団へ 03(3880)5770

区民アンケート実施中

QRコードにアクセスしてアンケートにお答えください

